



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
〔URL〕 <https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2026年4月24日

報道関係各位

札幌市円山動物園で PET ボトルの分別を楽しく体験 「ラベル剥離器」を寄贈いたします

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：酒寄正太）は、2026年5月3日（日）に札幌市円山動物園（所在地：札幌市中央区 園長 白水 彩）へ、子どもから大人まで楽しんでPETボトルの分別を体験することができる「ラベル剥離器」を寄贈いたします。

本取り組みは当時、市立札幌開成中等教育学校の学生により結成された「札幌開成9期資源再生プロジェクト」のメンバーが開発した装置を、円山動物園様のご理解・ご協力のもと、園内の分別啓発や環境教育の一環として実用化・設置するものです。

つきましては、以下の日程にて除幕式を開催いたしますのでご案内いたします。

除幕式のお知らせ

日 時：2026年5月3日（日）10時00分

場 所：札幌市円山動物園 第一レストハウス内
（札幌市中央区宮ヶ丘3番地1）

出席者：札幌市円山動物園 園長 白水 彩 様
札幌開成9期資源再生プロジェクト メンバー
北海道コカ・コーラボトリング株式会社 取締役 小松 剛一



ラベル剥離器デザイン

「札幌開成9期資源再生プロジェクト」の取組は、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団が実施している「コカ・コーラ環境教育賞」への応募から始まりました。そこで学生が電気やエネルギーを使用しないということをテーマに、3Dプリンターや段ボールを使って試作した「ラベル剥離器」が原点です。そこから円山動物園様・学生の皆様と意見交換により、試作品の改良を重ね、誰もが楽しくPETボトルの分別を体験できる器械として完成いたしました。「ラベル剥離器」は除幕式終了後から、どなたでも体験いただけますので、ぜひお気軽にご利用ください。



学生が自作した試作品第一号

私たち北海道コカ・コーラグループは、「北の大地とともに」をスローガンに、人々にさわやかさと潤いを届ける「どさんこ総合飲料メーカー」として、北海道の豊かな自然と地域ごとに魅力あふれる暮らしを未来につなげるため、「スマイルで暮らせる北海道」を道民の皆様とともに目指します。



<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部 担当：西川
お問合せフォーム：<https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/form/>



<お問合せフォーム>

<参考> 札幌市との協働の取組みについて

➤ 「さっぽろまちづくりパートナー協定」

札幌市では市民自治の推進を図るために、幅広い政策分野や事業について、ともにまちづくりを担っていくことを合意できた企業と、包括的な連携協定（名称 さっぽろまちづくりパートナー協定）を締結しています。札幌市と当社は以下の4分野を連携の柱とした協定を2009年1月に締結しました。

- (1) 未来を担う子ども達が健やかに育つまちづくり
- (2) 安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくり
- (3) 観光・文化・スポーツの振興を通じた、都市の魅力が輝くまちづくり
- (4) 地域の連携・協働を進めるまちづくり

➤ 「札幌市円山動物園を舞台とした環境協働事業」に関する協定

札幌市円山動物園を舞台として、札幌市民や札幌を訪れる方々に環境問題を考えるきっかけを提供する事を通じて、潤いある環境文化都市の実現に向けた環境協働事業に関する協定を2008年4月に締結しました。

<同協定に基づいた取組み>

- ・ 2010年9月に、札幌市円山動物園において取り組んでいる「野生動物復元プロジェクト」を応援し、「猛禽類野生復帰施設」の建築費用の一助として1,000万円を同プロジェクトに寄付。
- ・ 次世代教育の場として札幌市円山動物園内に「nature café EARTH（ネイチャーカフェアース）」をオープンし、来園者に休憩を楽しんでもらうほか、環境の大切さを感じていただく場として運営。
- ・ 2019年3月に、完成したゾウ舎内にゾウの生態に関してタッチウォールで見え触って学ぶことができる「ゾウさんのタッチシアター」をオープン。
- ・ 2024年5月に、新施設としてオープンした「オランウータンとボルネオの森」にボルネオの自然やオランウータンの生態を学ぶことができるインタラクティブコンテンツ「い・ろ・は・すビジョン」を寄贈。



➤ 「環境事業に関する協定」の取組み

札幌市清田区にある「白旗山における森づくり事業」や「札幌市円山動物園における賑わいづくり事業」等を通して、環境啓発活動を相互に連携して取り組んでいくことを柱とした包括協定を2011年6月に締結しました。

<同協定に基づいた取組み>

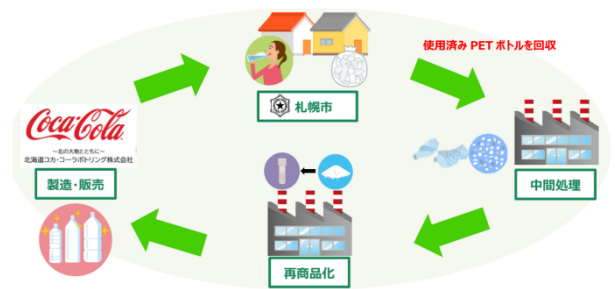
- ・ 白旗山都市環境林において、札幌市森林組合や市民団体などと連携し、長期にわたる森づくりを展開。
- ・ 札幌工場が使う地下水の水源が清田区の白旗山であることから、札幌市と結んだ「環境事業に関する協定」に基づき、白旗山の森づくりを進めています。毎年、当社の社員で植樹活動を行っています。



➤ 「資源循環の推進」に関する取組み

〈本取組における実施内容〉

「ボトル to ボトル試行事業」に関する協働の取組みとして札幌市と同市の市民等が排出する PET ボトルの一部を資源循環型リサイクルとして再生利用することにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進し、持続可能な環境・社会・経済を目指すことを目的とした取組みを 2024 年 10 月より開始いたしました。



【第一期試行事業（2024 年 10 月～2025 年 9 月）】

札幌市が回収した PET ボトルの一部（1,000 トン / 1 年間）を PET ボトルにリサイクルすることを目的として実施。結果として 1,023 トンの PET ボトルをリサイクル業者へ引き渡し、約 4,400 万本分の PET ボトルへリサイクルされました。

【第二期試行事業（2025 年 10 月～2026 年 9 月）】

試行事業 2 年目では更なる規模拡大を図り、PET ボトル回収量の目標を 2,000 トン / 1 年間、さらに資源選別センターを 2 カ所に拡充することで運用面での効率化、課題解決へ向けて札幌市と連携して進めてまいります。

以上